

# 台湾のまちづくり



### 台湾の基礎情報

- ・面積：約 3.6 万 km<sup>2</sup> (日本の九州とほぼ同じ)
- ・人口：約 2,300 万人
- ・政体：民主共和国
- ・気候：一年中温暖、北が亜熱帯、南が熱帯
- ・通貨：台湾元 (1元 約 3.3 円)

### 公共交通機関

- ・路線バス：市内一律 15 元(約 50 円)
- ・MRT：20～30 元(約 70～100 円)
- ・タクシー：約 2km 90 元(約 300 円)
- ・高速鉄道：台北～左営 約 1 時間 30 分  
往復 2,800 元(約 9,300 円)

### 物価

- ・缶ビール 350ml: 30 元(約 100 円)
- ・ミネラルウォーター：20 元(約 70 円)
- ・屋台(次頁写真): 70 元(約 230 円)

昨年末、台湾に行った際に感じたことを書きます。

台湾は、日本との時差が1時間遅れで、同じ東アジアということもあり、異国の雰囲気はあまり感じませんでした。

宿泊した台北市は、香港ほどではありませんが比較的人口密度が高く、路線バスやタクシーが多く、公共交通機関が発達した都市との印象を受けました。

実際、市街地の幹線道路の中央にバス専用レーンが設置され、定時制や安全性が確保されており、生活の足として利用されているようでした。



バス専用レーン

### 台北市の基礎情報

- ・面積：約 272km<sup>2</sup>  
(東京 23 区の約半分)
- ・人口：約 263 万人
- ・気候：夏の一時期を除けば比較的気温も低く過ごしやすい

バス以外の公共交通機関ですが、台北駅を中心とした MRT (Mass Rapid Transit) は、自転車と乗車することができ、主要な観光スポット (例えば孔子廟や士林観光夜市) も結んでおり、MRT 駅から路線バスを利用して乗り継げば、かなり行動範囲 (例えば故宮博物館) が広がります。

滞在日数は3日で毎日が雨模様でしたが、台北駅周辺の最寄りの MRT の地下駅に入れば、駅同士がショッピングモールで繋がっており、快適に移動することができました。



MRT



故宮博物館



地下ショッピングモール

MRTを利用し台北市以北の田舎町の淡水に行きましたが、東洋のベニスと呼ばれている観光地だけあり、駅周辺が無電柱化され、観光を重視した街並みが形成されていました。



淡水の街並み



電線地中化(淡水)



電線地中化(淡水)

さらに、高速鉄道（台北駅～左営駅）を利用し高雄市にも行きました。乗車時間は1時間半で東北新幹線（福島駅～東京駅）と同じ位の距離で、片道運賃は約5千円と、食事や日常生活品と同様に公共交通運賃も日本より比較的安価でした。

現在、日本は経済発展と引換えに失われた自然環境や歴史的街並み景観などを残すことの価値に気付き、それらの保全や復元に大変苦労していますが、同じ東アジアの一員として、台湾には同じ轍を踏まないよう望んでいます。



高速鉄道(左営駅)



魚粉汁&焼売



路線バス停留所

## 桑折町の「桑折町女性団体連絡協議会」が

## 「まちづくり功労者国土交通大臣表彰」を受賞しました！！

県北地区の桑折町では、平成16年の奥州街道・羽州街道の「追分」（分岐点）整備をはじめから、地区の皆さんが中心になったまちづくりがどんどんと広がっています。

使われていなかった蔵を利用した「桑折御蔵」（アンテナショップ・交流の拠点）や、おひな様を各戸に飾り付け、街を歩いて廻ってもらう「雛めぐり」、町の歴史遺産である「三元車（自転車の普及前に、なんと桑折の発明家が発明したものです）の復元」などの町内プロジェクトをはじめ、街道を通じた各地域（宮城県七ヶ宿町や山形県高畠町など）との交流など、「歩いて楽しむ賑わいのある」地域づくりが、町役場や県は町民の皆さんにひっぱりながら展開しています。

この地域づくりに大きな力となったのが、桑折町の9の女性団体からなる「桑折町女性団体連絡協議会」です。桑折御蔵でのおもてなし（ボランティアでやっていただいています。有難いです。）や雛めぐり等の催し開催など、そのパワーで、町を明るく元気にしていただいています。

これらの活動により、魅力あるまちづくりに功績のあった個人または団体を表彰する「まちづくり功労者国土交通大臣表彰」を受賞されました。

東京都で行われた表彰式では、全国の受賞42地区を代表して金子国土交通大臣から表彰状の授与、また活動内容の発表をされたところです。

桑折町女性団体連絡協議会の皆さま、おめでとうございます！！



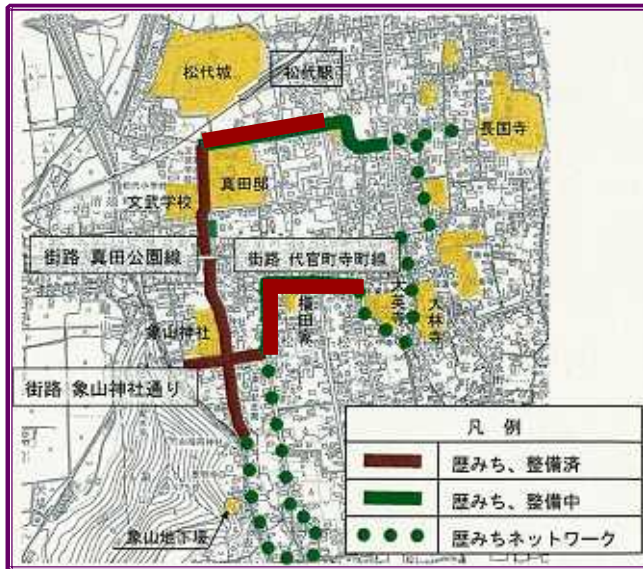
表彰を受ける島腹さん



# 歴史的遺産や景観を活かしたまちづくり

## みちからのまちづくり

### ～松代地区歴史的道すじ整備事業（長野県長野市）～



#### 事業概要

長野県の南部に位置する松代町は、永禄3年（1560年）頃、甲斐の武田信玄が北信濃を治めるために築城した海津城（松代城）の城下町が原形となり、旧谷街道の宿場町として、また、真田十万石の城下町として栄え、独特な文化が形成されました。

しかしながら、近年の生活様式の変化から歴史的な街並みの喪失が懸念され、地区内の生活道路も狭く居住者の安全対策も必要となりました。このため市では、点在する史跡等の豊かな歴史的遺産を生かしたまちづくりを進めることとしました。

現在は、地域住民の参加・連携のもと、歴史的な街並みを保全しつつ、自動車交通と歩行者に対応した道づくりによる都市機能の強化と快適で安全な生活の営めるまちづくりを推進しています。



海津城の整備された太鼓門

#### 真田公園線



歴史的建物の集中する観光拠点として、風格と華やかさが調和するよう整備されました。

#### 竹山町通り



電柱を道路から後退させ、歴史的まち並みと水景観との調和を図っています。

#### 象山神社通り



象山神社を中心とした、歴史的まち並み周遊の中間拠点として整備されました。

整備前

整備後



# 県営公園の紹介コーナー



## 逢瀬公園・緑化センター

### 公園概要

当公園は、“Green うつくしま ふくしま”をつくる緑化推進の基地として位置付けられ、日本庭園・薬草園・ロックガーデン・本館などでは各種の緑化事業を行っており、展望台やカスケード・花暦園・さくらの広場などでは都市緑化のモデル緑地として、多くの県民の皆様にご利用いただいております。

### 施設内容

わんぱく広場、さくらの広場、中央広場、花暦園、サボテン園、水琴窟、日本庭園、ロックガーデン、シャクナゲ園、教材樹木園、薬用樹木園、芝生の広場、花木園、庭園見本園、湿性植物園



ウォーキングコース



### アクセス

- ・郡山駅前より福島交通バス河内行で 40 分、緑化センター下車
- ・郡山 I.C より車で 20 分
- ・郡山駅前から車で 30 分

### お問い合わせ先

(財)福島県都市公園・緑化協会  
逢瀬公園・緑化センター管理事務所  
TEL 024-957-2221

メールマガジン登録随時受付中!!!

登録された方には、県内外のまちづくりに関する情報のほか、イベントなどのお役立ち情報をメールにてお知らせいたします。

メールマガジン(無料)の登録をご希望される方は

1. 団体・会社名
2. 氏名
3. メールアドレス

1～3を記入の上、まちづくり推進課のメールアドレス( [machizukuri@pref.fukushima.jp](mailto:machizukuri@pref.fukushima.jp) )まで希望する旨ご連絡下さい。

### 「編集後記」

「まちづくり瓦版～うつくしま、まちづくり推進レポート～」(Vol.32)はいかがでしたでしょうか？  
今後とも各地のまちづくりの取組事例の他、街路・公園等の事業紹介、イベント等の情報提供など、より充実した内容にしていきたいと思っております。  
取り上げてほしい事例や写真、ご意見・ご感想などございましたら、遠慮なく是非お寄せ下さい！

### 【発行元】

福島県土木部まちづくり推進課  
〒960-8670(住所記載不要です)  
TEL 024-521-7510  
FAX 024-521-7956  
e-mail [machizukuri@pref.fukushima.jp](mailto:machizukuri@pref.fukushima.jp)  
URL <http://www.pref.fukushima.jp/machi/>

